

患者の皆様へ

2016年7月1日

婦人科・周産期母性科

現在、婦人科・周産期母性科では、「子宮奇形手術後の妊娠転帰」に関する調査を行っています。この研究では子宮奇形の手術後に妊娠された患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「子宮奇形手術後の妊娠転帰に関する後方視的検討」

2. 研究の意義・目的 「当科で子宮奇形に対する手術を行った患者さんの妊娠結果をカルテを参照して検討する」

3. 研究の方法 2008年1月1日から2016年6月31日までに子宮奇形の手術を受けた患者さんのカルテ（診療録）を参照して後方視的に検討を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように、匿名化して厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院生殖医学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院 生殖医学

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院周産期母性科 医師 生水真紀夫、井上万里子

043 (222) 7171 内線6894 (周産期母性科外来)